

DxO OpticsPro 10

リリースノート

v10.5.4

Mac OS X

システム要件

- Intel Core™ i5 またはそれ以上奨励
- メモリ要件 (RAM) : 4 GB (6 GB 奨励)
- 空きディスク容量 : 2 GB (6 GB 奨励)
- OS X 10.8 (Mountain Lion) 、 10.9 (Mavericks) 、 10.10 (Yosemite) 、 10.11 (El Capitan)
- GPU 高速処理のサポートには、512 MB のビデオメモリが必要

###

DxO OpticsPro v10.5.4 の新機能

- 6 機種をサポートを新規追加
 - Canon Powershot G5X
 - Canon Powershot G9X
 - Leica Q (typ 116)
 - Sony DSC-RX1R II
 - Canon EOS M10
 - Leica SL
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro v10.5.3 の新機能

- 7 機種をサポートを新規追加
 - Sony A7SII
 - Olympus OM-D E M10 II
 - Samsung NX500
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro v10.5.2 の新機能

- 7 機種をサポートを新規追加
 - Phone 6s
 - iPhone 6s Plus
 - Pentax 645D
 - Panasonic Lumix GF-7
 - Panasonic Lumix G-7
 - Panasonic Lumix GX-8
 - Panasonic DMC-TZ70
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro v10.5.1 の新機能

- 6 機種をサポートを新規追加 :
 - Canon PowerShot G3 X
 - Sony A7R II (ILCE-7RM2)
 - Sony DSC-RX100 IV
 - Sony DSC-RX10 II
 - Pentax 645Z
 - Samsung NX2000
- OS X 10.11 (El Capitan) のサポート

- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro v10.5 の新機能

- DxO ONE の RAW (.DNG) と SuperRAW (.DXO) ファイルのサポート
- DxO ONE で撮影した SuperRAW 画像に PRIME と時間的ノイズ除去を自動的に適用
- スポーツ、ポートレートなどの DxO ONE 用の撮影モードプリセットを DxO ONE で撮影した画像に自動的に適用
- [弱] と [ふつう] モードで、Smart Lighting をより効果的に適用
- 画像を明るくする際、Smart Lighting、露光補正、選択的トーン補正が、よりなめらかなハイライトを実現
- ノイズの発生を抑えるために高感度 ISO で Smart Lighting の効果を自動的に制限
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro v10.4.3 の新機能

- 7 機種をサポートを新規追加：
 - Canon EOS 750D / Rebel T6i / Kiss X8i
 - Canon EOS 760D / Rebel T6s / EOS 8000D
 - Leica T (Typ 701)
 - Canon EOS M3
 - Nikon 1 J5
 - Pentax K-3 II
 - GoPro Hero 4 Silver
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro v10.4.2 の新機能

- 2 機種をサポートを新規追加：
 - Canon EOS 5DS
 - Canon EOS 5DS R
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro v10.4.1 の新機能

- 3 機種をサポートを新規追加：
 - Samsung NX1
 - Panasonic Lumix DMC-GM5
 - Leica C (Typ112)
- Adobe Lightroom 6 と Adobe Lightroom CC 2014/2015
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro v10.4 の新機能

- 2 機種をサポートを新規追加：
 - Nikon D7200
 - Olympus OM-D E-M5 Mark II
- [プリセット適用] ボタンの左の [補正設定のリセット] ボタンをクリックするとデフォルトで設定されているプリセットの補正設定に戻ることが可能
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro v10.3 の新機能

- 3 機種をサポートを新規追加：
 - Nikon D5500
 - Canon PowerShot SX60 HS
 - Olympus PEN E-PL7
- Spotlight でインデックスが付けられたフォルダに関して、フォルダ検索欄にフォルダ名を入力するだけで検索が可能 (選択タブ)
- DxO OpticsPro に、フォルダをドラッグ&ドロップして読み込みが可能
- 水平パレットの水平スライダでの小さな回転 (5°未満) が、スライダをドラッグすることで可能

- ダストツールのダストペンの幅が[Cmd+スクロール]を使って調整可能(マウスホイール、マジックマウスとマジックトラックパッドと互換性あり)
- ツールを開き、キーボードの **Enter** キーを押すと自動的に補正内容が適用され、ツールが閉じられる
- クロップツールの〔画像比率維持〕と〔無制約〕の変更が[Shift+マウス]ショートカットで利用可能
- クロップツールを最初に開くとき罫線がデフォルトで表示
- **DxO OpticsPro 10.3** をインストールする際に、データベースのアップデートが必要、ユーザにはデータベースのバックアップを取ることを奨励
- **Olympus Stylus 1 firmware 2.0** で撮影された画像のサポート
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro v10.2 の新機能

- 4 機種をサポートを新規追加：
 - **Sony a7 II**
 - **Panasonic Lumix DMC-LX100**
 - **Pentax K-S1**
 - **Samsung Galaxy S5**
- 複数の画像を選択する際、設定のパラメータはプレビューされている画像のものを表示（複数の画像選択されているとき、設定パラメータを変更すると、選択されている全ての画像に適用）
- **EXIF** パレットのデザイン刷新
- **Finder** 内で **DxO OpticsPro** とサイドカーファイルが連動
- [ヘルプ] メニューから **HTML** オンラインバージョンのユーザーズガイドが利用可能
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro v10.1 の新機能

- 6 機種をサポートを新規追加：
 - **Canon EOS 7D Mark II**
 - **Canon PowerShot G7 X**
 - **GoPro HERO4 Black Edition**
 - **Panasonic Lumix DMC-TZ60/ZS40/TZ61**
 - **Apple iPhone 6/6 Plus**
- 他のプログラムで設定されたスターランキングが画像内の **EXIF** データまたは画像に添付されている **XMP** ファイルからの読み込みが **DxO OpticsPro** で可能
- **DxO OpticsPro** 内で設定されたスターランキングが **DxO OpticsPro** が作成するファイル内に保存され、他のプログラムでも読み込みが可能
- プリセットのサムネイル画像プレビューの表示スピードが約 **3** 倍速くなり、画像間の表示切替がスムーズに実行
- **DxO FilmPack** (ライセンス認証されている必要あり) のデザイナーズ・プリセットが、プリセットのプレビューに、カラーとモノクロの **2** つの新しいカテゴリーとして追加
- **DxO ViewPoint** (ライセンス認証されている必要あり) パレットの パース補正の際に基本線自体の移動が可能
- マイナーなバグの修正

DxO OpticsPro 10 の新機能

- **DxO OpticsPro** は **ESSENTIAL** 版と **ELITE** 版の **2** つのエディションが利用可能で、どちらのエディションも **DxO Labs** によってサポートされている全てのカメラをサポートし、利用できる機能に違いあり（詳しいことは **DxO** のウェブサイトを参照）
- 自動的に画像の白いもやを除去する新機能 **DxO ClearView** が追加
- **DxO Smart Lighting** ツールの改善（コントラスト向上、自動モードでの補正結果の向上）
- 選択的トーンカーブツールの改善（それぞれのスライダの補正がより正確になり、スライダ適用度の調整）
- **DxO** レンズブラーツールの性能の向上（特に色のついた細かいディテールの保持）、デフォルト設定の強さをやや増加、スライダの範囲も拡大
- 水平ツールを **DxO ViewPoint** と同様に使用可能、引き続き、ツール使用時に画像上に直接ラインを引いて補正することも可能
- ホワイトバランスカラーピックツールとダスト除去ツールを **1** 画面表示モードでも使用可能
- ダスト除去の効果が、全てのズーム率で目視可能
- **Adobe Lightroom** または **Adobe DNG Converter** から出力された **DNG** 画像のサポート（元の **RAW** 画像が

- DxO OpticsPro によりサポートされている必要あり)
- デフォルトのワークスペースが刷新され 4 つのパレットにツールを集約 (ライト/カラー/ディテール/ジオメトリ)、主要ツールパレットには、この 4 つのパレットからよく使うものを選び、簡単にアクセス可能できるよう集約
 - DxO OpticsPro 内蔵のプリセットがジオメトリ補正やホワイトバランスを変更しないように修正 ([DxO 標準] プリセットと [補正なし] プリセットを除く)
 - 画像ブラウザのサムネイル上のアイコンが変更され、デフォルトでの表示件数を抑えるため [準備 OK な DxO 光学モジュール] と [処理ステータス] が非表示
 - ノイズ除去のルーペ枠の拡大
 - 画像のクロップ時に画像のピクセルサイズを表示
 - EXIF パレットに GPS の座標の表示
 - ハードディスクにエクスポートウィンドウを改善し、より明確に
 - ノイズ除去 PRIME の処理速度が約 4 倍アップ
 - フォルダとプロジェクトの読み込み速度が約 10 倍アップ
 - ソフトウェアの起動速度が 1.5 倍アップ
 - DxO FilmPack 5 のプラグインが刷新され、DxO FilmPack 5 のスタンドアロン版で使えるツールにアクセス可能 (プラグインを使うには DxO FilmPack 5 のライセンスが必要)
 - DxO ViewPoint が新規追加され、DxO ViewPoint のスタンドアロン版で使えるパース補正やボリューム歪像補正ツールにアクセス可能 (プラグインを使うには DxO ViewPoint のライセンスが必要)
 - カメラ 3 機種の新規サポート
 - Nikon D750
 - Panasonic FZ1000
 - Sony A5100

現時点で確認されている制限

- パース補正とボリューム歪像補正のツールを使うためには DxO ViewPoint のプラグイン版が必要になりますが、DxO OpticsPro 10 より前のバージョンを持っている方に対して、DxO ViewPoint 1 のライセンス 1 個を無償で提供 (DxO ViewPoint を持っていない場合のみ)
- ダスト除去補正をする場合、補正結果のプレビューがズーム率によって多少異なりますが、100%で表示されたものが補正結果を正確に反映
- ロスのある圧縮 (ロス DNG) を使っている DNG 形式のファイルのサポート不可
- Adobe Lightroom または Adobe DNG Converter 以外のソフトウェアから出力された DNG ファイルのサポートは対象外、またカメラ自体がサポートされていない DNG ファイル (カメラから直接 DNG 出力されたか、DNG 変換されたものかに関わらず) のサポートも対象外
- 選択的トーンカーブツールは、DxO Smart Lighting の DxO OpticsPro 7 または 9 モードが選択されている場合は DxO OpticsPro 9 と同様に使用可能
- OpenCL 高速処理が利用不可
- Fujifilm 社製のカメラ Fuji S3 Pro、S5 Pro、S100fs の画像で DNG 形式に変換されたものは非サポート